

II 芸術文化事業の状況（平成31年4月1日から令和2年3月31日）

- ・文芸館

ギャラリー、視聴覚ホール(定員198名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター、文化情報プラザ

- ・市民会館(定員1,022名)

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
日時	通年(月曜休み) 9:00~19:00、自分史相談は毎週火・金曜日 13:00~17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子、安藤錦風		
入場料等	無料		
利用者数	475名	利用率	—
収入	—	助成金	—
		自主財源比率	—
支出			1,109,489円
データ	蔵書8,191タイトル/寄贈71タイトル/書籍貸出80冊/相談日数92日/相談件数116件		
事業内容	<p>(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。</p> <p>(2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的に開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。遠方の方を対象に添削サービスも行っている。</p>		
成果	<p>(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れている。大学の研究目的の利用も多い。昨年度末から、文化情報プラザに本棚を設置。効果的な自分史のアピールを試行錯誤しながら進めている。</p> <p>(2) 「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。</p>		
備考			

事業名	自分史講座		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる		
会場	文化活動室		
受講者数	計19名	受講率	97%
収入	95,000円	助成金	—
		自主財源比率	52.7%
支出			180,375円
事業内容	<p>「エッセイ講座」</p> <p>6/6~8/8までの毎週木曜日 19:00~21:00 全10回</p> <p>受講料:5,000円 受講者数19名</p> <p>講師:芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)</p>		

成 果	一人ひとりが作品内容を発表し、他人の作品について考える時間が有意義と評判だった。講座終了後、芳賀氏が講師を務めるエッセイクラブへ15名が入会。文章を書くことの魅力を感じてもらい、自分史人口の輪を広げることができた。
備 考	

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
募集期間	6/15(土)～9/10(火)		
審査員	芳賀倫子、安藤錦風(日本自分史センター相談員) 鈴掛真(歌人)※ゲスト審査員		
監 修	芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)		
入場料等	無料		
利用者数	—	利 用 率	— 自主財源比率 4.6%
収 入	48,000 円	助 成 金	— 支 出 1,045,090 円
デ ー タ	応募数 210 作品/作品集への掲載 35 作品/作品集 1 冊 1,000 円(税込)		
事業内容	初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。17 回目を迎えた。今回のテーマは「恋した わたし」。ゲスト審査員に春日井出身の歌人鈴掛真を起用。また、演劇×自分史演劇 第3弾『春よ恋』と事業連携させた。		
成 果	より多くの人に気軽に応募してもらうため、400 字から応募可能にするなど募集規定を大幅に変更。身近なテーマ設定とゲスト審査員も影響し、若い世代(中・高校生部活の団体など)からの応募増加。応募作品数が 200 点を超えたのは第9回目以降、8 年振り。		
備 考			

(2) 美術系事業

事業名	日ペンの美子ちゃん原画展		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	5/1(水・祝)～19(日) 10:00～17:00 17日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	矢吹れい子(初代)、森里真美(2代目)、まつもとみな(3代目)、ひろかずみ(4代目)、梅村ひろみ(5代目)、服部昇大(6代目)		
入場料等	無料、青少年鑑賞サポート無料(190名)		
入場者数	1,846名	入場率	— 自主財源比率 11.9%
収入	88,417円	助成金	— 支出 745,519円
事業内容	「日ペンの美子ちゃん」は昭和47年から現代まで、6人の漫画家によって描き継がれてきたボールペン習字の広告漫画。本展では歴代の貴重な原画や資料を展示した。 展示作品／原画・関連資料 267点展示		
成果	元号が令和へ変わる節目の時期に、貴重な原画・資料を通して昭和から平成を振り返り、文字を書くことの魅力を改めて感じる機会を提供した。また、原画展示だけでなく、美子ちゃんというキャラクターやその設定から社会の変化を読み解くギャラリートークや、6代目作者・服部昇大のサイン会も開催し、様々な切り口から楽しめる展覧会を作り上げた。		
関連企画	(1)「ギャラリートーク」 5/6(月・休) 14:00～15:00 ギャラリー附属室 参加無料 参加者数 15名 講師：木田勇輔(社会学者、椙山女学園大学文化情報学部准教授) (2)「6代目作者 服部昇大先生サイン会」 5/12(土) 14:00～16:30 ギャラリー附属室 参加無料 参加者数 31名		
備考			

事業名	一条ゆかり展		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	11/29(金)～12/22(日) 10:00～17:00 21日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	一条ゆかり		
入場料等	一般800円、障がい者700円、学生(U-25)500円、小学生以下入場無料		
入場者数	2,052名	入場率	— 自主財源比率 48.8%
収入	2,255,749円	助成金	— 支出 4,625,397円
事業内容	ドラマチックなストーリーと華やかな画風で人気を獲得し続ける少女漫画のクイーン・一条ゆかりの原画展。貴重な初期作品から代表作「デザイナー」「砂の城」「有閑倶楽部」などの原画を中心に、人生の全てを漫画に捧げ、トップを走り続けた一条氏の約50年にわたる画業を紹介した。 展示作品／原画・関連資料 335点展示		
成果	地方ではなかなか見ることのできない、第一線で活躍したプロの漫画家の貴重な肉筆原画		

	を展示し、市民に広く紹介することができた。また、関連イベントとして一条氏によるトークショーも行い、プロの漫画家から直接話を聞く機会を提供し、普段来館することの少ない30～50代のファン層が多くつめかけた。
関連企画	(1)「一条ゆかり先生トークショー」 11/29(金) 19:00～20:00 視聴覚ホール 参加料:1,000円 参加者数155名
備考	

事業名	歌人 鈴掛真×名古屋学芸大学映像メディア学科 協働プロジェクト展 言葉では伝えきれない感情に 耳をすまして見えてきたもの		
新型コロナウイルスによる影響	2/28(金)～3/8(日) 9日間展示中止、関連企画1件中止 収支への影響はなし		
ミッション	1 創造一つくる 6 人材育成一はぐくむ		
日時	2/9(日)～3/8(日) 10:00～17:00 25日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	鈴掛真(歌人) 名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科プロジェクトチーム(学生22名)		
入場料等	無料		
入場者数	842名	入場率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	560,230円
事業内容	春日井市出身の若手歌人・鈴掛真と彼の母校である名古屋学芸大学の学生による「言葉」をテーマに表現方法を探る協働プロジェクト。鈴掛の歌集『愛を歌え』の中から映像メディア学科の学生たちが短歌を選び、自身の解釈で、映像や写真、インスタレーションなどの手法を駆使して作品を作りあげた。 展示作品/13点		
成果	6月から複数回にわたって鈴掛氏と大学側との打合せを重ね、つくり上げる過程を重視するプロジェクトとした。大学3年生から院生までの有志の学生や教員らとともにプレゼンや個別質疑の時間を設け、タイトなスケジュールながらも作品として昇華し、達成感を共有することができた。ギャラリーで長期間作品展示を行う機会は、学生たちにとって有意義な経験となった。また、鈴掛氏にとっては母校の後輩たちが自身の短歌をもとに展開しつくり上げた様々な形態の作品を見て、普段知る術のない読者の解釈に触れることができ、歌人としての創作活動に新たな刺激を受ける機会となった。		
関連企画	(1)「初めての短歌ワークショップ」 3/1(日) 10:00～12:00 会議室 応募者13名		
備考	協力/名古屋学芸大学		

事業名	みんなの美術部		
新型コロナウイルスによる影響	2/22(土) 1講座延期、3/7(土) 1講座中止 収入16,700円減 支出80,000円減		

ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	1日500円、小中高生300円 ※番外編は無料		
参加者数	計310名	入場率	—
収入	67,600円	助成金	435,000円
		自主財源比率	91.6%
支出	548,909円		
事業内容	<p>誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講座を開催。作品制作だけではなく、鑑賞することや話し合う時間も重視して実施した。</p> <p>前期（1）本山ゆかり先生の「10秒絵クササイズ」 会場：交流アトリウム ①6/22（土）②7/6（土）14:00～16:00 講師：本山ゆかり（美術家）参加者数 ①22名 ②22名 計44名</p> <p>（2）三輪布巳子先生の「水彩画コミックイラストに挑戦！」 会場：交流アトリウム ①7/13（土）②7/21（日）③8/12（月・休）10:00～12:00 講師：三輪布巳子（イラストレーター） 参加者数 ①21名 ②22名 ③20名 計63名 協力：名古屋造形大学</p> <p>後期（3）太田米香先生の「文字であそぼう」 会場：交流アトリウム、会議室 ①12/15（日）10:00～12:00 ②1/11（土）13:30～16:30 講師：太田米香（グラフィックデザイナー） 参加者数 ①22名 ②19名 計41名</p> <p>（4）林幸秀先生の「自然の素材でつくろう」 会場：会議室、交流アトリウム、少年自然の家 ①「弥生の笛をつくって焼こう(笛づくり)」1/25（土）10:00～12:00 ②「自然の木を使って、大きな立体作品をつくろう」2/9（日）10:00～15:30 ③「弥生の笛をつくって焼こう(野焼き)」2/22（土）14:00～16:30 講師：林幸秀（造形作家）参加者数 ①18名 ②10名 計28名</p> <p>（5）王昊凡先生の「餃子から広がる世界—台所でアートしよう—」 会場：レディヤンかすがい 3/7（土）10:30～14:30 講師：王昊凡（社会学者）</p> <p>番外編（1）「自分の思いを閉じ込めたフィーリングアート」 会場：交流アトリウム 7/23（火）9:00～11:30、13:30～16:00 講師：林幸秀（造形作家） 参加者数 市内中学校美術部員126名</p> <p>（2）番外・先生編「版画ワークショップ」 会場：交流アトリウム 12/4（水）15:30～16:30 講師：土屋敦資（版画作家） 参加者数 市内小中学校教員8名</p>		
成果	<p>前期は10代から60代までの24名の部員、後期は10代から70代までの36名の部員が集まった。面識のない子どもと大人が、複数回の講座を通して交流を重ねていく機会は珍しく、世代間交流を促進することができた。また、参加者は講座の回数を重ねるごとに自らの</p>		

成長を感じていたようで、失敗を恐れずに様々な表現方法に挑戦していた。また、番外編では、市内中学校の美術部員や教員に新しい表現方法を紹介することができた。講座全体を通して、エデュケーションアドバイザーの林幸秀が助言、補助を行った。講師と参加者の双方をサポートし、講座を円滑に進めることができた。

備 考 助成／子どもゆめ基金

(3) 舞台系事業

事業名	有門正太郎プレゼンツ アリプレ版ロミオとジュリエット 僕は死にますん		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	5/10 (金) ①19:30~21:00 (80名入場) 5/11 (土) ②12:30~14:00 (91名入場) ③15:30~17:00 (77名入場)		
会場	市民会館 (舞台上 定員 91名)		
出演	内田ゆみ (さかな公団)、寺田剛史 (飛ぶ劇場)、葉山太司 (飛ぶ劇場)、中川歩 (演劇関係いすと校舎) / 有門正太郎、門司智美、木下海聖、坂口あす実、野村法可、有門龍之介 (有門正太郎プレゼンツ)		
入場料等	2,500円、U-25 (25歳以下) 1,500円、青少年鑑賞サポート 500円 (43名)		
入場者数	248名	入場率 90.8%	自主財源比率 10.8%
収入	270,796円	助成金 —	支出 2,502,012円
事業内容	「演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト」事業の講師を務める俳優・演出家の有門正太郎が主宰する劇団の公演を、北九州芸術劇場と提携して上演。名作を題材に、実力派俳優と若手俳優たちが、疾走感あふれるコメディで観客を大いに笑わせた。市民会館の舞台上に客席を組み、試行錯誤しながらも市民会館の特性を活かした演出を行った。		
成果	来場者属性を年代別に見ると、小学生から高齢者まで満遍なく分布している。平成28年度のリージョナルシアター事業(一般財団法人地域創造)から、有門氏と3年かけて、多様な地域交流を展開した成果を感じさせる公演だった。また、市内高校演劇部員7名が、バラシ作業を手伝うなど、プロの現場を体験する機会を設けた。通常とは異なった市民会館の使い方を模索したことにより、今後の演劇制作における指針となった。		
備考			

事業名	ミュージカル「忍たま乱太郎」第10弾 ～これぞ忍者の大運動会だ！～		
ミッション	2 鑑賞一みせる 4 地域コミュニティ形成一つながる		
日時	6/8 (土) ①14:00~16:00 (950名入場) ②18:00~20:00 (920名入場) 6/9 (日) ③13:00~15:00 (945名入場)		
会場	市民会館		
出演	湯本健一、渡辺和貴、新井雄也、木村優良、秋沢健太郎 他		
入場料等	7,800円		
入場者数	計2,815名【完売】	入場率 98.1%	自主財源比率 106%
収入	19,533,085円	助成金 —	支出 18,444,714円
事業内容	全国からファンが訪れる2.5次元ミュージカル。2度目の春日井開催を上演のみに留めず、地元の商店街や春日井市観光コンベンション協会と連携し、春日井駅での提携ショップの出店や半券サービス、駅から会場までのマップ配布を行うなど町全体で観客を歓迎するおもてなし企画を行った。		
成果	キャスト急病による大阪公演の中止や、それに伴う春日井公演の脚本変更などはあったが、無事開催。地域連携のおもてなし企画も好評を得て、SNS や新聞記事などで取り上げられ		

	た。本公演に直接関心のない市民の方々にも、財団の取り組みを知ってもらう機会となった。
備 考	

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 100回記念公演		
ミッション	1 創造—つくる 3 普及啓発—ひろがる 6 人材育成—はぐくむ		
日時	①6/29(土) 15:00~17:30 (948名入場) ②6/30(日) 15:00~17:30 (940名入場)		
会場	市民会館		
出演	茂木大輔(企画・指揮・お話し)、河尻広之(ピアノ)、名古屋フィルハーモニー交響楽団		
入場料等	S席 5,200円、A席 4,700円 青少年鑑賞サポート 500円 (29(土):124名、30(日):176名)		
入場者数	計 1,888名【完売】	入場率 98.1%	自主財源比率 74.3%
収入	7,710,984円	助成金 —	支出 10,375,825円
事業内容	2006年に当財団が制作し、全国展開した「のだめ音楽会」。100回目を記念する今回は地元 にゆかりのある若手音楽家を起用し、プロとの共演によるステップアップの機会を提供し た。また、オリジナルの映像投影で、クラシック音楽の魅力を幅広い世代に伝えた。		
成果	2公演共に完売となり、原作の連載が終了した今も根強い人気のあるコンサートとなった。 初演の「のだめファンタジー」は、若手音楽家支援事業の登録アーティストでもある蒔田裕 也に編曲を依頼した。また、春日井出身の現役藝大生ピアニスト・河尻広之によるラフマニ ノフ「ピアノ協奏曲第2番」も迫力ある演奏が好評であった。プログラムの表紙には、原作 者の二ノ宮知子先生が今回のコンサートのために特別に書き下ろしてくださったイラスト とコメントを掲載するなど、100回記念の特別感を演出できた。		
備 考	託児利用5名		

事業名	松竹大歌舞伎		
ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	7/26(金) 昼の部 12:00~14:40 (970名入場) 夕方の部 16:30~19:10 (970名入場)		
会場	市民会館		
出演	松本白鸚、松本幸四郎、市川猿之助、市川高麗蔵、松本錦吾、大谷廣太郎ほか		
入場料等	昼の部：S席 7,800円、A席 5,800円、B席 3,800円 夕方の部：S席 7,300円、A席 5,300円、B席 3,300円、青少年鑑賞サポート 500円 (38名)		
入場者数	計 1,940名【完売】	入場率 94.9%	自主財源比率 138.9%
収入	12,819,766円	助成金 1,305,120円	支出 10,167,158円
事業内容	春日井の夏の風物詩で、今年で36年目、35回の公演を続けている松竹大歌舞伎。今回は、 松本白鸚、松本幸四郎の襲名披露公演で、襲名披露「口上」、人情物語の「引窓」、怪談仕立 ての清元連中「かさね」を上演した。		

成 果	襲名披露ということでの話題性はもちろんのこと、市川猿之助をはじめとする幹部俳優、脇役や清元に至るまで大物揃いの華やかな公演となり、来場者の高い満足度につながった。また、地元商店の方々が歌舞伎の演目にちなんで作ってくださる様々な商品をロビーで販売、来場者や出演者から好評を得た。青少年鑑賞サポートプログラムの参加者数は、平日公演であるにも関わらず、昨年度より6名増え、日本の伝統文化に親しむ機会を作ることができた。平日公演で市役所が開庁日のため名鉄バスを増便するなど、事前の準備を徹底したことで、交通混雑のクレームや駐車場不足のトラブルも無かった。
関連企画	(1) 葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー 6/28 (金) 13:30～15:00 市民会館 入場料：500円 ※松竹大歌舞伎チケット提示で無料入場 入場者数 395名 講師：葛西聖司 (伝統芸能解説者、元NHKアナウンサー) (2) 歌舞伎ソムリエの直前解説 7/26 (金) ①弁当付解説 10:30～11:30 ②スイーツ付解説 15:00～16:00 視聴覚ホール 入場料：①2,000円 ②1,500円 参加者数 ①61名 ②42名 講師：おくだ健太郎 (歌舞伎ソムリエ) (3) 小学生・中学生・高校生向け演目解説 7/26 (金) 16:00～16:15 会議室 入場無料 参加者数 65名 講師：小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
備 考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

事業名	中部フィルハーモニー交響楽団 春日井特別演奏会 【共催】作曲家・渡辺俊幸のシネマ&ポップス！		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	9/14 (土) 15:00～17:00		
会場	市民会館		
出演	渡辺俊幸 (指揮)、中部フィルハーモニー交響楽団		
入場料等	4,300円、学生 (25歳以下) 1,000円		
入場者数	658名	入場率 65.8%	自主財源比率 887.4%
収入	170,918円	助成金 —	支出 19,260円
事業内容	作曲家・渡辺俊幸の指揮による、映画・ポップスのコンサート。自身が作曲した朝ドラ、大河ドラマ、アニメの曲も演奏。生で聴くことの少ない映画音楽、ポップス曲をオーケストラの演奏でお届けした。		
成果	「映画の世界」、「お茶の間の世界」という二部構成で、誰もが知っている映画音楽やポップスを演奏。また、モーツァルトなど定番のクラシック音楽を、映画音楽風に編曲して演奏するなど、編曲もできる渡辺氏ならではのプログラムを提供することができた。 券売については、財団での販売が伸び悩んだが、中部フィル側の券売努力のおかげで目標を達成することができた。		
備考	共催／認定NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団 協力／一般財団法人こまき市民文化財団		

事業名	OKB 大垣共立銀行 presents 春日井まつり前夜祭 由紀さおり 50 年記念コンサート 2019～2020 “感謝”		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	10/18 (金) 18:30～20:40		
会場	市民会館		
出演	由紀さおり		
入場料等	一般 6,500 円		
入場者数	862 名	入場率 90.6%	自主財源比率 98.4%
収入	5,974,655 円	助成金 —	支出 6,069,793 円
事業内容	今年度は、「夜明けのスキヤット」など数多くのヒット曲を持つ由紀さおりのコンサート。春日井では平成 24 年に由紀さおり・安田祥子コンサートを実施したが、単独のコンサート開催は初めて。デビュー 50 年記念コンサートとして、デビュー曲から最新曲までの数々をお届けするコンサートを開催した。		
成果	ヒット曲や最新曲、カバー曲などを披露し、歌声で来場者たちを魅了した。来場者と一緒に歌う演出もあり、充実した内容のコンサートで、春日井まつり前夜を盛りあげた。		
備考	主催／春日井まつり実行委員会、春日井市 特別協賛／OKB 大垣共立銀行		

事業名	【共催】第 29 回日本舞踊鑑賞会		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	11/4 (月・休) 13:00～15:45		
会場	市民会館		
出演	春日井市日本舞踊協会、弧の会より 5 名、若獅子会 司会：伊井ひろみ		
入場料等	一般 3,000 円、青少年鑑賞サポート無料 (46 名)		
入場者数	351 名	入場率 35.1%	自主財源比率 31.7%
収入	1,081,122 円	助成金 —	支出 3,413,006 円
事業内容	昭和 53 年の発足以来、春日井の舞踊文化を支え続ける春日井市日本舞踊協会と財団が共催し、春日井の舞踊文化向上のために特別ゲストを招いて開催する継続事業。協会員が演じる華やかな古典舞踊と、実力派として注目を集める弧の会による創作舞踊「若獅子」を若手囃子方集団・若獅子会の迫力の生演奏とともにお届けするなど、彩り豊かに日本舞踊の魅力を伝えた。		
成果	3 年ぶり 29 回目の開催となる今年は、特別ゲストとして弧の会が「コノカイズム (平成 23 年)」の開催以来 8 年ぶりに出演。また、「伝統芸能の魅力発見! (平成 30 年)」にも出演した若獅子会による生演奏も見どころとなった。弧の会からは、代表の市山松扇はじめ、猿若流、藤間流、若柳流、日本舞踊鑑賞会からは、稲垣流、赤堀流、西川流、藤間流の舞踊家が一堂に会し、流派ごとの違いを楽しむこともできる貴重な機会となった。アンケートではゲストに対する絶賛の声が多く、来場者満足度は高かったといえる。		
備考	共催／春日井市日本舞踊協会		

事業名	演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト		
新型コロナウイルスによる影響	2/27(木)、28(金) 2回ワークショップ中止、2/29(土)、3/1(日) 2公演延期 収入 320,826 円減 支出 165,480 円増		
ミッション	1 創造—つくる		
講師	有門正太郎(俳優・演出家)、アシスタント4名(服部哲郎、杉山絵理、石黒圭一郎、坪尾光起)		
参加者数	計 554 名	入場率	— 自主財源比率 52.4%
収入	196,000 円	助成金	2,600,000 円 支出 5,339,873 円
事業内容	<p>演劇創作を通じて、市民とともに「自分史」の魅力を再発見するプロジェクト。3か年計画で展開してきた本企画の3年目となる今年度は、会場を市民会館に移し、事業の集大成となる作品をつくる。地元で活動しているアーティストが、活躍できる環境づくりとスキル向上を目的に、地域交流プログラムや「演劇×自分史」の作品創作に取り組んだ。</p> <p>(1)【演劇×自分史】ワークショップ 会議室、視聴覚ホール、市民会館 11/15(金)、16(土)、29(金)、30(土)、12/19(木)、1/10(金)～12(日)、24(金)～26(日)、2/7(金)～9(日)、19(水)～24(月・祝)、26(水)～28(金) 21日間開催 参加料：一般 10,000 円、U-25(25歳以下) 4,000 円、高校生以下 1,000 円 参加者数 25 名</p> <p>(2)【演劇×自分史】第3弾公演「春よ恋」 市民会館 2/29(土)、3/1(日) 14:00～15:10 入場料：一般前売 1,000 円(当日 1,500 円)、青少年鑑賞サポート 500 円</p>		
成果	<p>自分史コミュニティの課題の一つに高齢化が挙げられるが、本事業では10代、20代の参加者も増え、普段交流する機会の少ない幅広い年代が集まる場となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演は実施できなかったが、チケット予約枚数は、前年を3割近く上回っていた。本事業で関わった人や公演を観た人が、自分史事業を知り、サークルや各講座に参加する流れをつくるなど、毎年成果を上げてきている。3年間活動を継続することで、演劇をやりたい市民が集まるようになってきたので、振替公演を実現させたい。活動日以外でも、参加者同士で連絡を取り合い、アシスタントとして参加しているアーティストの公演を観に行くなど、交流も生まれていた。</p>		
備考	助成／一般財団法人地域創造		

事業名	お勢、断行		
新型コロナウイルスによる影響	3/14(土) 公演中止 収入 2,286,390 円減 助成金 1,250,526 円減 支出 4,154,472 円減		
ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	3/14(土) 14:00～16:10		
会場	市民会館		
出演	倉科カナ、上白石萌歌、江口のりこ、柳下大、池谷のぶえ、粕谷吉洋、千葉雅子、大空ゆう		

ひ、正名僕蔵、梶原善			
入場料等	一般 5,000 円 U-25 (25 歳以下) 2,500 円		
入場者数	—	入場率	—
収入	—	助成金	420,000 円
		自主財源比率	186.7%
		支出	224,950 円
事業内容	江戸川乱歩の原作をもとに倉持裕が創作、平成 29 年に上演された「お勢、登場」の新作演劇。テレビドラマで活躍中の実力ある俳優陣の出演により、独特な世界感を持つ倉持氏と江戸川乱歩の融合、プロの演技を幅広い客層が体感できる公演。		
成果	劇場を訪れる機会の少ない若年層向けに、廉価な U-25 チケットを設けて 49 枚販売した。また、地域の高校演劇部への呼びかけに対し 27 名の応募があった。通常、若年層向けチケットは 30 枚程度に留まることが多いが、倍以上の券売につながった。また、出演者のインタビュー映像を館内で上映するなど、人気俳優の出演を強く印象付けることができ、結果、公演 1 か月前にチケットは完売した。		
関連企画	(1) トークイベント「探偵小説を彩る悪女たち」 1/18(土)14:00~15:00 会議室 入場無料 参加者数 40 名 講師：小松史生子(金城学院大学教授)		
備考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)、瀬戸信用金庫地域振興協力基金		

事業名	首藤康之×CAVA レニングラード・ホテル		
ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	5/26(日) 15:00~16:10		
会場	東部市民センター		
出演	首藤康之、黒田高秋(CAVA)、藤代博之(CAVA)、細身慎之介(CAVA)、田中優希子(CAVA)、澤村亮、丸山和彰(CAVA)、山本光二郎(コンドルズ)		
入場料等	4,500 円、U-25 (25 歳以下) 2,000 円、青少年鑑賞サポート 500 円 (19 名)		
入場者数	267 名	入場率	72.8%
収入	1,001,651 円	助成金	—
		自主財源比率	33.9%
		支出	2,954,081 円
事業内容	魅惑的かつユーモラスな舞台で観客を魅了するパントマイム集団 CAVA と、世界的バレエダンサー首藤康之による、ダンスと演劇の要素を融合したオリジナリティの高い無声劇をお届けした。		
成果	平成 29 年東京での初演、翌年の再演を経て、初の地方公演となった。全幕に流れるショスタコーヴィッチの「ジャズ組曲」が静謐で無機質な雰囲気醸し出し、ホール内を旧ソ連の寒々とした雰囲気のホテルのような空間に見事に見立てていた。その空間の中で、優雅且つコミカルに動くダンサーの仕草は、市内バレエ教室関係者からも「美しく、そして面白い」と好評だった。		
備考	協賛／サンマルシェ		

事業名	親子わくわくプログラム KAKUTA のとびだす童話 ねこはしる		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	8/18 (日) 14:00~15:40		
会場	東部市民センター		
出演	成清正紀、異儀田夏葉、四浦麻希、多田香織、酒井晴江、置田浩紳、森崎健康、吉田紗也美、織詠、高橋 乱、矢田未来、細村雄志、桑原裕子、添野 豪 (ペテカン)、うた：花れん		
入場料等	おとな 3,000 円、こども (小~高校生) 500 円 (137 名)		
入場者数	259 名	入場率 55%	自主財源比率 89.7%
収入	477,222 円	助成金 4,286,962 円	支出 5,313,580 円
事業内容	親子向けの演目として、東京の劇団 KAKUTA が創作する音楽劇。平成 30 年度に豊橋で創作のためのワークショップを実施してリメイクし、上演した。その成果をもとに今年度、劇場間の連携プログラムとして、春日井を含め全国 5 カ所で上演を行った。		
成果	開演前から演者が来場者とコミュニケーションをとり、歌やダンス、衣装の早替えなど、飽きさせない演出が盛り込まれ、夏休みに家族で一緒に楽しめる演劇作品を提供できた。複数の劇場が連携することで、質の高い優れた作品を、単館で行うより効率的な予算で上演することができた。		
関連企画	(1) こども向け演劇ワークショップ ねこはしるのワンシーンをつくろう 8/16 (金) 14:00~15:30 東部市民センターホール (舞台上) 参加料：500 円 ※東部市民センター開催「ねこはしる」チケット提示で無料 参加者数 18 名 講師：成清正紀、四浦麻希、多田香織		
備考	協賛/サンマルシェ 助成/文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)、一般財団法人地域創造		

事業名	第 89 回かすがい芸術劇場 入船亭扇辰独演会		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	4/21 (日) 14:00~16:00		
会場	視聴覚ホール		
出演	入船亭扇辰、入船亭小辰		
入場料等	2,800 円、U-25 (25 歳以下) 1,500 円、青少年鑑賞サポート 500 円 (4 名)		
入場者数	186 名	入場率 93.9%	自主財源比率 71.7%
収入	476,669 円	助成金 —	支出 665,067 円
事業内容	特徴的な高音の声で、子どもから老人までを性別問わず演じ分ける入船亭扇辰の独演会。前座の入船亭小辰は、若手噺家の登竜門と呼ばれる平成 30 年度 NHK 新人落語大賞本選で、大賞と 1 点差で次点となった期待の若手噺家。新旧の優れた落語を間近で聴いていただいた。		
成果	落語を聞いていながら演劇をみているような感覚に陥るといった評判のとおり、師匠の噺の上質さに来場者が唸る公演となった。師弟に対し「実力者の腕前に感激した」というアンケート		

ートが多く見られ、春日井の落語好きに満足いただける高座をお届けすることができた。

備 考

事業名	かすがい日曜シネマ		
新型コロナウィルスによる影響	3/22(日) 1作品上映延期 収入 181,834円減 支出 165,880円減		
ミッション	2 鑑賞ーみせる		
会場	視聴覚ホール(定員144名)、(3)(6)は東部市民センター(定員429名)		
入場料等	前売800円、当日1,000円(9月のみ当日券と前売り券同額)		
入場者数	計1,639名	入場率 75.9%	自主財源比率 127.3%
収入	1,292,921円	助成金 ー	支出 1,015,412円
事業内容	<p>舞台芸術や音楽等をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。映画上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による、音声ガイド付きの上映も行っている。</p> <p>(1) 5/19(日) 第73回「君が生きた証」①102名、②92名、③28名 (2) 7/14(日) 第74回「日日は好日」①144名、②143名、③140名 (3) 9/1(日) 第75回「それだけが、僕の世界」396名【完売】 (4) 11/24(日) 第76回「星空」①98名、②99名、③14名 (5) 1/26(日) 第77回「幸せなひとりぼっち」①137名、②139名、③107名 (6) 3/22(日) 第78回「バジュランギおじさんと、小さな迷子」</p> <p>各回共に①10:15～、②13:45～(音声ガイド付き上映)、③16:45～ (3)(6)は13:30～</p>		
成果	<p>作品選定やミニ・トークが好評で、リピーターも多い。茶道がテーマの作品を上映した7月は「呈茶付きチケット」を販売し、上映前後に和菓子と抹茶を楽しむ企画を実施した。文芸館内の茶室見学会も開催し、茶室の存在を知ってもらう良い機会となった。翌月には初心者向け茶道講座を実施、いずれの企画も好評を博した。2度目の東部市民センター上映となった9月は、見切れ席を追加販売するほどの券売で、東部地区での開催を強く望む声が非常に多く、映画鑑賞の機会を求める声に応えられていると実感した。</p>		
関連企画	<p>(1) はじめての茶道講座 ①8月6日(火)10:00～12:00 ②8月11日(日・祝)10:00～12:00 和室 参加料:1,000円 参加者数 ①4名 ②7名 ※定員各回7名 講師:犬飼真紀子(表千家)</p>		
備 考	協力/ボイスケイン、ボイスさくら		

事業名	昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会		
新型コロナウィルスによる影響	3/18(水) 1公演中止 助成金 24,000円減 支出 54,688円減		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		

会 場	交流アトリウム		
入場料等	無料		
入場者数	計 2,575 名	入 場 率	—
		自主財源比率	64%
収 入	200,569 円 (寄附金)	助 成 金	432,001 円
		支 出	987,635 円
事業内容	<p>お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。月 2 回、土曜日の昼と金曜日の夜に開催。子どもと一緒に生の音楽を聴く経験ができる、親子のためのはじめてのコンサートも実施。クラシックだけではなく、ポップスなど幅広い曲を演奏し、音楽の楽しさを伝える。</p> <p>(1) 4/13 (土) 14:00~15:00 第 229 回「オーボエで紡ぐ魅惑の名画メロディ」 入場者数：270 名 出演：石田正オーボエ・トリオ 石田正 (オボエ)、ささはらなおみ (ピアノ)、伊藤玉木 (ベース)</p> <p>(2) 4/26 (金) 19:00~20:00 第 230 回「悠久のインドから音楽の贈り物」 入場者数：110 名 出演：安藤真也 (サントウ)、原口順 (タブラ)</p> <p>(3) 5/18 (土) 14:00~15:00 第 231 回「プロムナード・サクソフォン」 入場者数：320 名 出演：岡田恵実、河合佑里奈 (サクソフォン)、沖田唯 (ピアノ)</p> <p>(4) 5/31 (金) 19:00~20:00 第 232 回「木管五重奏と歌による音楽物語」 入場者数：120 名 出演：山村歩 (フルート)、新田祐子 (オボエ)、玉井真紀子 (クラリネット)、古川愛 (ホルン)、北川陽子 (ファゴット)、吉田友紀 (歌)</p> <p>(5) 6/15 (土) 14:00~15:00 第 233 回「雨の日ミュージック」 入場者数：200 名 出演：Clarinet Ensemble みたらしだんご 水野沙織、松本有可、平野藍、船渡美歩 (クラリネット)、坂田光子 (バスクラリネット)</p> <p>(6) 6/21 (金) 19:00~20:00 第 234 回「晴れた空に想いを寄せて」 入場者数：150 名 出演：アンサンブル・ヴィオレ 細川杏子 (フルート)、岡田麗紗子 (オボエ)、安田莉子 (クラリネット)、山崎瑞季 (ホルン)、三吉彩生 (ファゴット、客演)</p> <p>(7) 9/21 (土) 14:00~15:00 第 235 回「ま・ぼ・ろ・し」 入場者数：270 名 出演：NewTones 松本一策、中川香 (ヴァイオリン)、伊藤玉木 (ベース)、ささはらなおみ (ピアノ)</p> <p>(8) 9/27 (金) 19:00~20:00 第 236 回「星空のかなたへ」 入場者数：170 名 出演：トリオ・シュテルン 角田育代 (ヴァイオリン)、小島怜、隅田明子 (ピアノ)</p> <p>(9) 10/11 (金) 19:00~20:00 第 237 回「十六本の糸～シンプルで奥深い」 入場者数：115 名 出演：サラマンカホール・レジテント・カルテット 西村洋美、波馬朝加 (ヴァイオリン)、太田奈々子 (ヴァイオリン)、紫竹友梨 (チェロ)</p> <p>(10) 10/26 (土) 14:00~15:00 第 238 回「フランスに魅せられて」 入場者数：220 名 出演：Ensemble Acero 松本彩見 (オボエ)、豊永洋吉 (フルート)、岩谷優花 (クラリネット)、小笠原環斗 (ホルン)、岩谷莉奈 (ファゴット)</p> <p>(11) 11/2 (土) 14:00~15:00 第 239 回「シネマティック・ミュージカル！」 入場者数：260 名 出演：トリオ・セッション 千田絵里奈 (ヴァイオリン)、堤歩実 (サクソフォン)、吉田真由香 (ピアノ)</p>		

	<p>(12) 11/22 (金) 19:00~20:00 第240回「夢見るツインピアノ」 入場者数:100名 出演:le bonbon 西濱由有、夏目順子 (ピアノ)</p> <p>夜コン特別編 11/7 (木) 19:00~20:00 「アコースティックに染まる秋夜」 入場者数:270名 出演:井草聖二 (ギター)</p> <p>親子のためのはじめての音楽会 3/18 (水) 10:30~11:15 出演:石川貴憲 (サクソフォン)、原田実和子 (ピアノ)、鈴木豊大 (パーカッション)</p>
成 果	<p>今年度で16年目を迎えた昼コン&夜コンでは、実力派から春日井市にゆかりのある演奏家と様々な出演者の演奏を聴く機会を提供できた。また、第233回、第240回は同一楽器のみ、第230回はインド楽器という珍しい編成だったが、「珍しい編成ではじめて聴いた」「普段聴く機会が少ないインド楽器が聴けて良かった」などアンケートを通じて多くの意見をいただいた。また、今年度は夜コン特別編として、ギタリストの井草氏のコンサートを開催し、既存のファンだけではなく、昼コン&夜コンファンにも演奏を楽しんでいただいた。</p>
備 考	<p>助成/文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)</p>

事業名	若手音楽家支援事業 ワンコインコンサート		
新型コロナウイルスによる影響	3/13 (金) 1公演延期 助成金 8,000円減		
ミッション	6 人材育成ーはぐくむ		
会場	視聴覚ホール (定員144名)、(2)のみ東部市民センター (定員429名)		
入場料等	500円		
入場者数	計573名	入場率 64%	自主財源比率 58.4%
収入	169,440円	助成金 333,000円	支出 860,339円
事業内容	<p>地域に根差した音楽家を育てることを目的に、若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。</p> <p>(1) 10/25 (金) 19:00~20:30 第5回ワンコインコンサート「ASTER」 入場者数:72名 出演:ASTER 近藤加奈子 (ソプラノ)、二川理嘉 (ヴァイオリン)、蒔田裕也 (ピアノ)</p> <p>(2) 12/7 (土) 13:00~15:30 ワンコインコンサート Xmas Special 入場者数:342名 出演:Shiki's Friends、Trio Primavera、BULL、Lune</p> <p>(3) 12/27 (金) 19:00~20:30 第6回ワンコインコンサート「MeisA」 入場者数:159名 出演:MeisA 名倉明里、安田有沙 (ピアノ)</p> <p>(4) 3/13 (金) 19:00~20:30 第7回ワンコインコンサート「Trombone Ensemble Gaio」 出演:Trombone Ensemble Gaio 天野有華、大西理沙、桂山祐未、中澤明子 (トロンボーン)</p>		

成 果	<p>3か年にわたる支援プログラムの中で、積極的に登録アーティストを売り込み、起用してもらえるようにPRをすることで、演奏活動の機会が増え、経験値の向上に繋がった。12/7に開催した、第1期登録アーティストたちによる「Xmas Special」は、4組合同というスケールメリットを活かし、東部市民センターを使ってコンサートを開催した。その実績もあり、市民病院や緑化植物園などからも、次年度以降のコンサートの開催依頼があった。また、来場者に「地元の若手音楽家を応援しませんか?」と呼び掛け、コンサート3件の合計で95,131円の寄附をいただいた。ワンコインという気軽な入場料で、満足度の高いコンサートを開催できた成果である。</p> <p>他にも、若手音楽家たちの更なる技術や意識の向上を促すため、「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 100回記念公演」でメドレーの編曲を登録アーティストに依頼し、プロの音楽家と仕事を共にする機会を提供した。一人前の音楽家として仕事を請け負うことの重さを再認識する貴重な機会となった。</p>
備 考	<p>助成／文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業（人材養成事業））</p> <p>寄附金：95,131円（特定寄附金に積立て）</p>

事業名	講座・セミナー				
ミッション	3 普及啓発ーひろがる				
参加者数	計614名	入場率	—	自主財源比率	38.4%
収入	202,790円	助成金	—	支出	528,127円
事業内容 (再掲)	<p>「松竹大歌舞伎」関連企画 3講座</p> <p>(1) 葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー 6/28(金) 13:30～15:00 市民会館 入場料：500円 ※松竹大歌舞伎チケット提示で無料入場 入場者数 395名 講師：葛西聖司(伝統芸能解説者、元NHKアナウンサー)</p> <p>(2) 歌舞伎ソムリエの直前解説 7/26(金) ①弁当付解説 10:30～11:30 ②スイーツ付解説 15:00～16:00 視聴覚ホール 入場料：①2,000円 ②1,500円 参加者数 ①61名 ②42名 講師：おくだ健太郎(歌舞伎ソムリエ)</p> <p>(3) 小学生・中学生・高校生向け演目解説 7/26(金) 16:00～16:15 会議室 入場無料 参加者数 65名 講師：小松淳子(事業推進グループ プロデューサー)</p> <p>「お勢、断行」関連企画 1講座</p> <p>(1) トークイベント「探偵小説を彩る悪女たち」 1/18(土) 14:00～15:00 会議室 入場無料 参加者数 40名 講師：小松史生子(金城学院大学教授)</p>				

	<p>「かすがい日曜シネマ」関連企画 1 講座</p> <p>(1) はじめての茶道講座</p> <p>① 8月6日(火)10:00~12:00 ② 8月11日(日・祝)10:00~12:00 和室</p> <p>参加料:1,000円 参加者数 ①4名 ②7名 ※定員各回7名</p> <p>講師:犬飼真紀子(表千家)</p>
成 果	<p>松竹大歌舞伎関連企画は毎年恒例となっているが、今年もリピーターが多く、満足度の高い講座となった。特に「小学生・中学生・高校生向け演目解説」は、初めての歌舞伎鑑賞をサポートする内容で、わかりやすく理解が深まったと大変好評であった。</p> <p>トークイベント「探偵小説を彩る悪女たち」では、聖書から現代文学まで描かれてきた悪女たちの魅力を解説した。参加者からは「濃く、楽しい時間だった」「もっと続きが聞きたい」との声が多く、充実した内容となった。</p> <p>かすがい日曜シネマ関連企画では、茶道がテーマの作品上映に合わせて、初心者向けの茶道講座を実施。より映画が楽しめる体験となり、好評を博した。</p>
備 考	

事業名	宝くじ文化公演「石井正則～Sound of Story～朗読と音楽で綴るコンサート」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	2/16(日)13:00~15:40		
会 場	ホテルプラザ勝川		
出 演	石井正則(朗読)、渚あき(歌)、山本愛香(ピアノ、パーカッション)		
入場料等	一般2,000円、青少年鑑賞サポート500円(4名)		
入場者数	197名	入 場 率	75.2%
		自主財源比率	9.0%
収 入	180,810円	助 成 金	—
		支 出	2,012,765円
事業内容	俳優・石井正則による朗読とピアノ・パーカッションの生演奏のコラボレーションによる新感覚の朗読公演。春日井では、平成27年度に続き2回目の開催となる。宝くじ文化公演として、豊川市と連携して実施した。		
成 果	朗読だけではない構成で、満足度の高い公演をお届けすることができた。春日井の民話や、来場者から即興朗読などが披露され観客を沸かせた。ホテルプラザ勝川の特別協力により、劇場以外の会場を利用した公演実施の可能性を見出すことができた。		
備 考	共催/春日井市、(一財)自治総合センター 特別協力/ホテルプラザ勝川		

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー		
ミッション	1 創造一つくる		
日 時	① 5/19(日)15:00~17:30 沖縄コンベンションセンター劇場棟		
会 場	② 8/3(土)、4(日)15:00~17:30 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール		
	③ 8/10(土)14:00~16:30 調布市グリーンホール 大ホール《ピアノ版+(プラス)》		
	④ 9/6(金)19:00~21:00、7(土)14:00~16:00 《三浦友理枝 ピアノ版》		

上田市交流文化芸術センター（サントミュージゼ） 小ホール			
⑤ 9/29（日）14:00～16:00 鈴鹿市文化会館けやきホール《高橋多佳子 ピアノ版》			
⑥ 10/13（日）15:00～17:30 シンフォニア岩国コンサートホール			
⑦ 12/7（土）、8（日）14:00～16:00 北九州市立響ホール《高橋多佳子 ピアノ版》			
⑧ 1/11（土）15:00～17:30 上田市交流文化芸術センター（サントミュージゼ）大ホール			
出 演	茂木大輔（指揮）、高橋多佳子、三浦友理枝、岡田奏（ピアノ）ほか		
入場料等	—		
入場者数	オーケストラ版 7,520名 ピアノ版 2,562名	入 場 率	— 自主財源比率 1,408.9%
収 入	999,900円	助 成 金	— 支 出 70,972円
事業内容	平成18年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員で行っている。これまでにオーケストラ版104公演、ピアノ版10公演、延べ152,270名動員。		
成 果	各地のホールと連携ができ、お客様にも喜んでいただけた。各ホールの要望をヒアリングしながら、地域にあわせたプログラムを提供できた。		
備 考	企画／茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団		

事業名	財団サポーター2019		
新型コロナウイルスによる影響	3/19（木）研修1件中止 収入80,000円減 支出66,000円減		
ミッション	4 地域コミュニティ形成一つながる		
参加者数	計329名	入 場 率	— 自主財源比率 —
収 入	—	助 成 金	— 支 出 12,800円
事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。		
実 績	活動公演数29回／展覧会数2回／研修2回／登録者数38名		
成 果	今年度の新規登録者は1名。研修にも積極的に参加していただき、お客様からの「いつも温かい雰囲気を出迎えてくれる」と好評を得ている。		
備 考			

(4) アウトリーチ事業

事業名	アウトリーチ事業		
新型コロナウイルスによる影響	2/27(木)、3/4(水)、11(水) 3回講座中止 収入 30,000 円減 助成金 26,000 円減 支出 60,000 円減		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 6 人材育成ーはぐくむ		
入場料等	(1)(2) 無料 (3) 1 講座 500 円		
参加者数	計 1,407 名	入場率	— 自主財源比率 44.3%
収入	20,000 円	助成金	273,699 円 支出 662,470 円
事業内容	<p>(1) かすがい どこでも アート・ドア 各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣し、演奏やワークショップを通して「特別なアートの時間」を届ける事業。文化・芸術を身近に体験する機会を提供した。</p> <p>音楽／講師：馬場淳史（三味線）</p> <p>① 9/11(水) 町屋友の会 会場：町屋ふれあいの家 参加者数 50 名</p> <p>② 10/24(木) 岩成台保育園 参加者数 160 名</p> <p>音楽／講師：BULL 瀧彬友、三輪一登、大嶋漢、小田和来、川地立真（サクソフン）、山田信晴（打楽器）</p> <p>① 8/25(日) 押沢台コミュニティネットワーク 会場：押沢台集会所 参加者数 75 名</p> <p>② 11/8(金) 西尾小学校 参加者数 85 名</p> <p>③ 1/18(土) 八事八明会 会場：八事公民館 参加者数 40 名</p> <p>音楽／講師：Trio Primavera 林里紗（フルート）、蒔田裕也（ピアノ、アレンジ）、小笠原歌歩（ホボエ）</p> <p>① 6/19(水) 勝川北部保育園 参加者数 120 名</p> <p>② 9/6(金) 第二ひばり幼稚園 参加者数 200 名</p> <p>音楽／講師：Lune 伊藤美佳里（クラリネット）、足立真里那（サクソフン）、耕作彦充（ピアノ）</p> <p>① 6/16(日) 春日井市母子寡婦福祉会 会場：総合福祉センター大ホール 参加者数 60 名</p> <p>② 10/31(木) 株式会社エスライフ 会場：エスライフホール 参加者数 50 名</p> <p>音楽／講師：Shiki's Friends 詩貴（マルバ）、鈴木豊大（パーカッション）、太田紗耶香（ピアノ）</p> <p>① 9/18(水) 瑞穂保育園 参加者数 95 名</p> <p>② 10/9(水) 上八田保育園 参加者数 112 名</p> <p>(2) 井草聖二 アウトリーチ&コンサート ギタリスト井草聖二によるアウトリーチ&ミニコンサート。中学生に向けたアウトリーチを行う。ミニコンサートは、夜コン特別編として実施する。</p> <p>① 11/7(木) 10:00~11:00 あすなろ教室 参加者数 20 名</p> <p>② 11/7(木) 13:35~14:20 南城中学校中学3年生 参加者数 300 名</p>		

講師：井草聖二（ギタリスト）

(3) ヒット曲で踊る！ダンス講座

初心者向けダンス講座。1 講座完結型で講座ごと異なる曲で振付を覚えダンスを踊る。講師は昨年度事業「輝けるダンス講座」において、大好評であった服部氏。

① 2/13（木）② 2/20（木）③ 2/27（木）④ 3/4（水）⑤ 3/11（水）

13：30～15：30 会場：東部市民センター 参加料：500 円

参加者数 ①23名 ②17名 講師：服部哲郎（ダンサー、振付家）

成 果

(1) 幼児や高齢者（交通弱者）など、ホールに出向くことが難しい方々に向けて、身近なコミュニティに伺い、音楽の生演奏を届けることで、「非日常」のひとつを過ごしてもらうことができた。アーティストにとっても、音響的に決して好条件ではない環境下で、観客のニーズに臨機応変に対応するため、選曲やトークに工夫を凝らすなど試行錯誤し、経験値を上げる良い機会となった。

(2) 生徒に井草氏の学生時代の経験を通じたメッセージを伝え、多くの市民に演奏を聴いていただく機会を提供することができた。あすなろ教室では、コンサートを通じて「普段の教室では見られない生徒の一面を見ることができた」と先生から声をいただいた。学校だけではない、教育現場でのニーズを知ることができた。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら2回のみ開講となった。しかし、申込時点では各講座20名を上回り、開講中止が決まった際にも、「またやってほしい」という声が多数あった。本講座の東部地区でのニーズの把握することができ、行う意義を感じた。

備 考

助成／文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
寄附金：44,968 円（春日井市メセナ基金に充当）

(5) 施設サービス系事業

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
受講料等	無料		
受講者数	計 43 名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
		自主財源比率	—
		支 出	1,035 円
事業内容	<p>春日井市内の吹奏楽部と演劇部を対象に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナー。演劇版では希望校の実際の活動場所にて、普段使っている道具や環境の中で、より実践的な指導をした。吹奏楽版ではそれぞれの定期公演で応用できる演出方法とその作り方について、具体例を交えながら指導した。</p> <p>(1) 高校演劇版 6/5 (水) 16:00~17:30 春日井高等学校体育館内舞台 受講者数 29 名 (春日井高等学校)</p> <p>(2) 高校吹奏楽版 1/12 (日) 9:30~11:30 市民会館 受講者数 14 名 (春日井西高等学校、春日井東高等学校、高蔵寺高等学校)</p>		
成 果	<p>高校演劇版では、生徒が実際に製作しようとしている道具を想定した内容にしたため、参加者がすぐ使える知識や技術を伝えることができた。吹奏楽版では照明、音響機材を操作してみる体験や、演出例をだしながら具体的な指導ができた。吹奏楽版、演劇版とも、受講者は財団スタッフに積極的に質問しながら熱心に学んでいた。</p>		
備 考			

事業名	スタインウェイピアノ開放します！		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる		
日 時	8/14 (水) 10:00~17:15 8/15 (木)、16 (金) 8:45~17:15 (1 団体 60 分×20 枠) 1/4 (土) 11:15~17:15 1/5 (日) 8:45~17:15 (1 団体 60 分×12 枠)		
会 場	市民会館		
参加者	公募による抽選で選ばれた市民		
入場料等	利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円		
参加者数	計 112 名	入 場 率	—
収 入	38,000 円	助 成 金	—
		自主財源率	69.7%
		支 出	54,500 円
事業内容	<p>市民会館のホールを貸し切り、スタインウェイピアノを 1 時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は 8 月と 1 月の 2 回開催。</p>		
成 果	<p>8 月に 54 組、1 月に 61 組の応募があり、抽選で選ばれた合計 32 組の家族や友人たちが、練習や撮影、家族コンサートなど、参加者それぞれの方法でピアノとの時間を楽しんだ。</p>		
備 考			

事業名	【共催】第27回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/22（日）14:00～16:20		
会場	市民会館		
出演	春日井高等学校、春日井西高等学校、春日井南高等学校、春日井東高等学校、春日井商業高等学校、高蔵寺高等学校、中部大学春日丘高等学校 各吹奏楽部		
入場料等	無料		
入場者数	810名	入場率	—
収入	—	助成金	—
		自主財源比率	—
		支出	—
事業内容	春日井市内7高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を越えてステージに上がり熱演を繰り広げる、全国的にも珍しい演奏会。マーチングステージ、シンフォニックステージ、ポップスステージの3部構成で実施した。		
成果	各高校の生徒から選出された「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が主体となり、学校紹介やアンコールの企画構成、チラシやアンケートの作成を行った。チラシ作成では、ターゲットを絞り込み、アプローチを考えながら本公演の特徴をとらえたチラシを作成することができた。当日は幅広い年齢層のお客様が来場し、客席は大盛況であった。		
備考	主催／春日井市高等学校吹奏楽協議会（幹事校：春日井西高等学校）		

事業名	ギャラリーライブ Vol.2 和装ハーピスト綾 和を愛でる ～十二単で奏でる癒しのハーブ～		
ミッション	1 創造—つくる		
日時	6/23（日）14:00～15:30		
会場	ギャラリー		
出演	和装ハーピスト綾、たなかつとむ、大治太鼓		
入場料等	1,800円		
入場者数	114名	入場率	95%
収入	158,367円	助成金	—
		自主財源比率	31.2%
		支出	507,123円
事業内容	着物を着てハーブを演奏する、和装ハーピスト綾によるコンサート。前半はハーブのソロ曲を、後半は小野小町の4首の和歌から着想を得て、アーティストが書いた小野小町の物語を、十二単をまとい朗読と共に演奏。三味線、鳴り物などの和楽器とのコラボや、舞台セットとして着物の展示も行った。		
成果	視聴覚ホールと異なり、客席と舞台の隔たりが無いギャラリーを会場としたため、観客にとってより臨場感のある公演にすることができた。また、開演前から白い壁に映像を投影し、曲の進行に合わせて和歌を投影するなど、映像と音楽のコラボレーションを見せることができた。		
備考			

事業名	かすがい文化フェスティバル 2019		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる		
会場	文芸館、市民会館、屋外広場		
参加者数	計 1,041 名	入場率	— 自主財源比率 24.7%
収入	85,600 円	助成金	75,558 円 支出 652,638 円
<p>7月最後の日曜日と8月に週一回、子ども向けのワークショップを実施。初日はスペシャルデイと称して、工作や書道、和楽器等の伝統文化を小学生に教えた。8月の平日は市内外で活動するアーティストを講師に、ワークショップや親子で参加できる劇場バックステージツアーを開催。また、児童文学作品を原作とした芸術性の高いアニメーション映画を野外で鑑賞する映画会も実施。</p> <p>スペシャルデイ 交流アトリウム、市民会館、視聴覚ホール、文化活動室、会議室、和室</p> <p>(1) オープニングコンサート 7/28 (日) 9:30~10:00 入場料: 無料 入場者数 110 名 出演: Shiki's Friends 詩貴 (マリンバ)、鈴木豊大 (パーカッション)、太田紗耶香 (ピアノ)</p> <p>(2) 体験講座 全 13 講座 26 回 7/28 (日) ①10:10~ ②11:20~ ③13:30~ ④14:40~ 参加料: 無料~500 円 参加者数 352 名 講師: 春日井市文化協会 (12 団体)、春日井市美術協会 (1 団体)</p> <p>事業内容 ワークショップ 交流アトリウム、市民会館 (8/29 のみ)</p> <p>(1) 「和紙で作ろう! 自分だけのアイスクリーム」 8/1 (木) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30 参加料: 500 円 参加者数 33 名 講師: 倉美紀 (和紙スイーツ作家)</p> <p>(2) 「マブリングで世界に一つだけのペーパーウェイトを作ろう!」 8/9 (金) 13:30~15:30 参加料: 300 円 参加者数 24 名 講師: 林幸秀 (造形作家、かすがい市民文化財団エデュケーションアドバイザー)</p> <p>(3) 「みんなで踊ろう! オリジナルダンス」 8/15 (木) 14:00~16:00 参加無料 参加者数 13 名 講師: 服部哲郎 (ダンサー、振付家) アシスタント: 杉山絵理 (ダンサー)</p> <p>(4) 「段ボールや廃材でオリジナル変身マスクを作ろう!」 8/22 (木) 13:00~16:00 参加料: 500 円 参加者数 17 名 講師: 黒野雅直 (段ボールコスチューム作家)</p> <p>(5) 「親子で挑戦! 謎解きゲーム in 市民会館 Vol.2」 8/29 (木) ①10:00~ ②13:00~ ③15:00~ 参加料: 1 チーム 100 円 参加者数 27 チーム 77 名 講師: かすがい市民文化財団スタッフ</p>			

	夕涼みシネマ「若おかみは小学生！」屋外広場 8/17 (土) 19:00~20:40 入場料：無料 入場者数 415 名
成 果	事前申込だけでなく、当日、立ち寄った子どもたちも参加できるようにし、多くの子どもたちに体験してもらうことができた。8月のワークショップでは、和紙や石膏など、普段の生活では触れる機会のない材料を使ったワークショップを行い、好評を得た。
備 考	助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	アトリウム音楽祭		
新型コロナウイルスによる影響	3/7 (土)、8 (日) 2公演中止 収入 80,000 円減 支出 51,728 円減		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
会 場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計1,019名	入 場 率	— 自主財源比率 95.4%
収 入	80,000円	助 成 金	— 支 出 83,880円
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会。市内外で活躍しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。</p> <p>(1) [秋] ①9/7 (土) 10:00~16:45 ②9/8 (日) 10:00~17:45 出演者 15 団体 (220 名) 入場者数 1,019 名 春日井男声合唱団、唱歌の会、フルール、プアナニアロハ、ムジカ アコーディオンアンサンブル、関西吟詩文化協会 鷺伸吟詠会 東尾張支部、M ál a carte、琴古流尺八長月会、春日井児童合唱団 OB 会、高蔵寺ニュータウン女声合唱団、オカリナ♪和～なごみ～、プレジール・アコ&ボンジュール、二胡・にこ サークル、春日井市能楽連盟、八吹 ※エクテ・モア辞退</p> <p>(2) [春] ①3/7 (土) 10:00~17:45 ②3/8 (日) 10:00~17:45 出演者 16 団体 琴修会 春日井支部 玉川教室、コーラスグループさくら、マカナニ フラ スタジオ、△Ocarina、Kahawainani Hula Halau、あんじゅママコーラス&シャルール、ムジカアーツ、かすがいウィメンズブラス、しろくまカルテット、ウクレレユニット・レインボーガーデン、ハーラウ・ワア・カウルア・ハアリ・マオヒ、カ パ フラ オ プアラニ プアメリア ティアレ カハイア、高蔵寺混声合唱団、キッズダンスサークル、現代邦楽会・春日井、hoalimi Hula</p>		
成 果	和楽器から洋楽器、合唱にフラダンスなど、様々な音楽団体が舞台に立った。プロの司会者と音響スタッフがバックアップするため出演団体の満足度も高く、舞台と客席が共に楽しめるイベントとなった。		
備 考			

事業名	【共催】かすがい人形劇フェスティバル 2019		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/1 (日) ①10:00~11:50 (130名入場) ②14:00~15:45 (127名入場) ③12:00~13:50 (作って遊ぼうコーナー、コント紙芝居)		
会場	視聴覚ホール、交流アトリウム (作って遊ぼうコーナー、コント紙芝居)		
出演	①人形劇団じゃん・けん・ぼん、中部大学子育てすくすく育て隊、人形劇団ひつまぶし、マーガレット一家・りさちゃん with T、人形劇団パン ②人形劇団とんとんとん、人形劇団よろずや〇、愛知県立大学人形劇サークルとびねこ、おしゃべり劇場ぽっけ、人形劇団むすび座 ③くれよんの会、さくらぶんこ、マーガレット一家・りさちゃん with T		
入場料等	①②前売 おとな 1,000 円、こども 500 円、一日券おとな 1,700 円、こども 800 円 当日 おとな 1,200 円、こども 600 円 ③無料		
入場者数	計 257 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	市内外のアマチュア及びプロ人形劇団が合同で公演を行った。また、午前午後の合間には交流アトリウムで工作コーナーや紙芝居の公演を行った。		
成果	今年度は愛知人形劇センター30周年を記念し、愛知県下のアマチュア人形劇団有志で結成した劇団ひつまぶしが初参加した。生演奏の音楽と人形劇が融合した楽しいステージとなった。また、中部大学子育てすくすく育て隊、愛知県立大学人形劇サークルとびねこ等、学生たちが仕込みから参加し、若い力で会場を盛り上げた。交流アトリウム恒例の工作コーナーに加え、マーガレット一家・りさちゃん with Tが紙芝居を披露。視聴覚ホールと交流アトリウムが一体となり、子どもたちの笑顔溢れる1日となった。		
備考	主催/愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】とっておきのクリスマスコンサート		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/22 (日) 17:30~19:15		
会場	交流アトリウム		
出演	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		
入場者数	280 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	14,960 円
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団 OB・OG も出演し、交流アトリウムでクリスマスソングを歌う。		
成果	ステージの飾りつけや客席づくりを合唱団の子供たちと共同で行い、公演の円滑な運営を支援できた。また、音響操作をステージより前の上手側にしたことで、舞台の様子を音響担当が直に確認することが可能となり、安定した音響調整サービスを提供することができた。		
備考	主催/春日井児童合唱団		

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝事業		
収入	—	支出	2,120,884 円
			自主財源比率 —
事業内容	より多くの市民に当財団の活動を“認知・理解・支援”していただくために、広告掲載やパブリシティ活動により、新聞・テレビ・雑誌などの他社媒体への露出を図り、当財団及び事業のPRを行った。		
実績	≪記事掲載≫中日新聞 52 回、朝日新聞 6 回、中日スポーツ 1 回、毎日新聞 1 回、読売新聞 1 回、ラジオ 3 回、ケーブルテレビ 2 回、雑誌タウン誌 50 回、web メディア 3 回 ≪有料広告≫中日新聞 3 回、フリーペーパー 1 回		
成果	「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」指揮者の茂木大輔や、「レニングラード・ホテル」出演の首藤康之（バレエダンサー）の名古屋キャンペーンを実施。新聞やラジオで告知を行い、集客につなげた。「ミュージカル忍たま乱太郎」では地元商店街や春日井市観光コンベンション協会と連携し、JR 春日井駅前での出張販売や商店街マップなどを配布。多くの来場者から「春日井に来て良かった」という声を得ることができた。また、事業宣伝用のビジュアル作成を事業推進グループと連携し、効果的な媒体づくりを行った。		
備考			

事業名	情報発信事業		
収入	80,000 円	支出	7,356,516 円
			自主財源比率 1.1%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面や HP、映像等の自社媒体で広く発信した。		
実績	(1) 情報誌「FORUM PRESS」発行 隔月 10,000 部、6 回発行 ≪配布状況≫県内 331 施設、県外 50 施設に配布 ≪FORUM PRESS レポーター≫ 登録人数 12 名、活動公演数 22 回、研修等 2 回、参加人数延べ 60 名、誌面掲載記事 12 本、HP 掲載記事 22 本 (2) HP 運営 ・ 随時更新、チラシの PDF、関連動画などの掲載 ≪SNS 運営≫ ・ twitter フォロワー数 1,060		
成果	情報誌「FORUM PRESS」は引き続き、地域にまつわるコンテンツを充実させた。令和 2 年度に 100 号を迎えるにあたって、配布方法・部数の見直しや、春日井の文化を発信するための情報誌としての内容を検討するワーキングを 3 回行った。その間に、市民や関係者へのヒアリングも実施した。FORUM PRESS に間に合わなかった稽古場取材の記事を来場者に配布予定であったが、公演中止となった。市民の声を反映する「FORUM PRESS レポーター」は新規参加もあり、随時活動を行った。また「演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト」を冊子にまとめ、配布。医療関係者やサンデー毎日などから反響があり、自分史のPRにつながった。平成 27 年度より道風記念館と連携して行っている“書のまち春日井”PRのための各自主事業と書にまつわるコラムを掲載したチラシは、来場者へ 2 回配布した（累計 21 回）。		
備考			

事業名	インフォメーション事業		
収入	286,348 円	支出	1,078,042 円 自主財源比率 26.7%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。チケットの Web 販売は平成 28 年 2 月に導入した票券管理システムで、コンビニエンスストアでの発券およびクレジットカード決済が可能になった。また、2 月より文化情報プラザにクレジットカード端末を導入し、キャッシュレス決済が可能となった。交流アトリウムでは自主事業の映像での情報提供を随時行っている。また、東部市民センターで行う自主事業については、高蔵寺ふれあいセンターやグルッポふじとうと連携して展示を行い、PR に務めた。		
実績	《文化情報プラザ運営》9:00~18:00、10/1（火）より 9:30~17:15 《チケット Web 販売数》2,053 件、4,059 枚、19,114 千円 《チケット入金明細》・カード決済 583 件 1,065 枚 ・セブンイレブン決済 473 件 829 枚 ・現金 3,500 件 6,645 枚 ・郵便振替 34 件 57 枚 《文化情報プラザでのカード利用数》55 件 126 枚 619 千円		
成果	チケットの Web 販売は大型事業のチケット発売が無かったにも関わらず、昨年度の 95%にとどまった。カード決済、セブンイレブン決済の販売数はほぼ横ばいであり、現金や郵便振替などに対応する仕事の負担軽減につながった。また、2 月から導入した文化情報プラザでのクレジットカード端末利用者は 55 件で、お客様の利便性向上につながった。10 月より文化情報プラザでの働きやすさ及び同一労働同一賃金の観点と、Web 販売による文化情報プラザ利用者の減少により営業時間を変更したが、問題なく運営できた。		
備考			

事業名	友の会事業		
収入	1,716,024 円	支出	1,110,672 円 自主財源比率 154.5%
事業内容	自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度を平成 14 年度から継続して運営。昨年度の同時期と比べて会員数は対前年比 74%となっている。提携ショップは 38 店舗加盟している。平成 28 年 2 月より Web のみチケット先行予約が可能な無料の Web 会員制度を導入。		
実績	《友の会 PiPi 有料会員数》828 名 内、新規入会 116 名、更新 712 名 内訳：レギュラー会員（年会費 2,000 円）702 名、ゴールド会員（年会費 3,000 円）125 名、プラチナ会員（年会費 10,000 円）1 名 《無料 Web 会員数》5,464 名		
成果	平成 29 年度より「松竹大歌舞伎」先行予約を、ハガキ抽選及び Web 先行予約とし、Web では先着順で席を選べるようにした。今年度は昨年度より 6%増の、約 56%の会員が Web へ移行した。Web の利便性を上手く利用しつつも、ハガキで申し込んでいる約 44%の会員に、今後も丁寧な情報提供をしていく。また、会員数減についての対策を行っていく。		
備考			

2 受託文化事業

事業名	第 68 回春日井市民美術展覧会		
日時	8/17（土）～25（日） 9:00～16:30（初日は10:00から、最終日は16:00まで） 9日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー、視聴覚ホール		
入場料等	出品無料		
入場者数	10,035名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	4,696,542円	助成金	—
		支出	4,696,542円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を8/17（土）に開催した。</p> <p>応募 703 作品</p> <p>日本画 33 作品、洋画 134 作品、書 236 作品、彫塑工芸 24 作品、写真 158 作品 委嘱作品 60 作品、参考作品 58 作品</p> <p>賞／市長賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞</p>		
成果	多くの市民に作品発表及び鑑賞の場を提供している。また、公開審査やギャラリートークを開催し、市民が美術作品への理解を深める機会を提供した。		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会 後援／中日新聞社		

事業名	第 39 回春日井市短詩型文学祭		
日時	1/25（土）～2/9（日） 9:00～17:00 14日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	3,830名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	1,360,812円	助成金	—
		支出	1,360,812円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品 54 作品と審査員、実行員による作品も同時に展示。表彰式を2/2（日）に開催した。</p> <p>応募 25,565 作品 入賞 798 作品 作品集 750 円</p> <p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩 【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞／市長賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀（小・中学生のみ）、佳作</p>		
成果	市民の文芸作品の発表作品と鑑賞の場を提供。応募作品数は昨年度より全体で 2,119 作品増加している。（一般+31 作品、小・中学生+2,088 作品）		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会		

3 共催事業

事業名	小野道風公奉賛 第71回 全国書道展覧会「道風展」		
日時	【本展】10/27(日)～11/4(月・休) 9:00～16:30 9日間開催(4,195名入場) 【VR展】10/27(日)～12/8(日) 43日間開催(1,037アクセス) 【学生半紙の部巡回展】11/5(火)～12/8(日) 34日間		
会場	【本展】市庁舎、ギャラリー、道風記念館 【VR展】ギャラリー内展示をインターネット上で公開 【学生半紙の部巡回展】JR春日井駅自由通路 展示コーナー		
入場料等	出品料 第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	4,195名	入場率	—
収入	6,899,254円	助成金	—
		支出	6,879,736円
事業内容	日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃え開催する全国公募の書道展覧会。開会式を10/27(日)、表彰式を11/3(日・祝)に開催した。 応募 5,919点 第1部(漢字) 129点、第2部(かな) 62点、第3部(近代詩文) 50点 第4部(少字数) 47点、第5部(小品) 1点 一般部合計 289点 学生条幅の部 668点、学生半紙の部 4,962点 学生部合計 5,630点		
成果	本展は書道愛好家の鍛練の場、書道教育の振興の場として書道という日本の伝統文化の裾野を広げる役割を果たすだけでなく、明日の書壇を担う逸材を輩出する登竜門の役割も果たしている。また、春日井市は「書のまち春日井」を標榜し、書道文化の振興に力を入れており、特色ある春日井文化の推進を図る核となる事業である。 今年度から、遠方の出品者が展覧会をウェブ上で閲覧できるバーチャルリアリティー展(VR展)を導入し、公開期間内に1,037件のアクセスがあった。全国公募展でありながら展覧会が春日井開催のみという、出品者にとってのデメリットを解消した。また、学生半紙の部の観光コンベンション協会会長賞以上の作品をJR春日井駅構内にて巡回展示し、学生のハイレベルな作品を多くの市民に鑑賞していただくことで道風展をPRした。		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援／愛知県教育委員会 協賛／一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	2019 春日井市民第九演奏会		
日時	12/8(日) 15:00～17:00		
会場	市民会館		
出演	指揮：井村誠貴 独唱：國光ともこ(ソプラノ)、河村典子(アルト)、松本薫平(テノール)、池田真己(バリトン) 管弦楽：春日井市交響楽団 合唱：春日井市民第九合唱団 合唱指導：松下伸也 賛助出演：春日井児童合唱団		
入場料等	A席：1,500円 B席：1,000円		
入場者数	839名	入場率	93.6%
収入	—	助成金	—
		支出	—

事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。第九合唱団に加え、今年は春日井児童合唱団が賛助出演し、ソリストや春日井市交響楽団とともに総勢 300 人を超える出演者が舞台に立った。
成果	今年は 200 名の市民公募の第九合唱団が舞台に立ち、第九を熱唱した。また、前歌として賛助出演の春日井児童合唱団と共に歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』にイタリア語で挑戦。年の瀬の市民会館を盛り上げる、とても華やかな舞台となった。
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市民第九演奏会実行委員会 共催／春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団 賛助出演／春日井児童合唱団

4 職員派遣

派遣事業名	愛公文セミナー I・II・III
日時	5/23 (木)、7/11 (木)、11/13 (水) 10:00~17:00
会場	愛知芸術文化センター
主催	愛知県公立文化施設協議会
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)、小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	フロントスタッフ養成講座
日時	8/24 (土) 13:30~15:00
会場	武豊町民会館
主催	武豊町民会館
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	舞台芸術人材養成ラボ 技能習熟プログラム「劇場職員セミナー」
日時	1/16 (木) 13:00~14:45、1/17 (金) 13:00~14:45
会場	愛知芸術文化センター
主催	愛知県芸術劇場
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)、山川愛 (広報コミュニケーショングループマネジャー)
派遣事業名	全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 2020
日時	2/5 (水) 13:00~15:00
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
主催	公益社団法人全国公立文化施設協会
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)

1 施設の利用状況(平成31年4月～令和2年3月)

(1)文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数					利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較
							貸館	財団 自主	一般	減免	公用				
1 ギャラリー	53	45	84.9%	318	249	78.3%	39	貸館	31	一般	24	19,576	34,113	40	38,003
										減免	5	4,674			
										公用	2	2,633			
										受託	1	1,295			
										共催	1	1,081			
財団 自主	8	主催	6	4,854											
一般		85	9,065												
減免		13	2,505												
公用		104	10,015												
受託		14	1,401												
2 視聴覚ホール	309	216	69.9%	927	488	52.6%	265	貸館	202	一般	85	9,065	26,727	271	29,338
										減免	13	2,505			
										公用	104	10,015			
										受託	14	1,401			
										共催	6	771			
財団 自主	63	主催	43	2,970											
一般		27	990												
減免		41	877												
公用		215	5,269												
受託		2	89												
3 会議室	315	288	91.4%	1,890	1,127	59.6%	327	貸館	283	一般	27	990	8,609	363	9,921
										減免	41	877			
										公用	215	5,269			
										受託	2	89			
										共催	19	366			
財団 自主	44	主催	23	1,018											
一般		7	159												
減免		117	3,191												
公用		102	1,692												
受託		1	12												
4 文化活動室	309	219	70.9%	927	435	46.9%	258	貸館	226	一般	7	159	5,711	288	6,477
										減免	117	3,191			
										公用	102	1,692			
										受託	1	12			
										共催	7	205			
財団 自主	32	主催	24	452											
一般		57	433												
減免		5	391												
公用		8	55												
受託		0	0												
5 和室	309	133	43.0%	1,854	350	18.9%	135	貸館	70	一般	57	433	1,177	141	1,164
										減免	5	391			
										公用	8	55			
										受託	0	0			
										共催	11	73			
財団 自主	65	主催	54	225											
一般		0	0												
減免		5	3,484												
公用		15	4,910												
受託		16	4,073												
6 交流アトリウム	309	284	91.9%	927	1,328	143.3%	530	貸館	20	一般	0	0	20,692	455	21,029
										減免	5	3,484			
										公用	15	4,910			
										受託	16	4,073			
										共催	17	1,063			
財団 自主	510	主催	477	7,162											
一般		200	30,223												
減免		186	15,122												
公用		446	24,574												
受託		34	6,870												
合 計							1,554	貸館	832	一般	200	30,223	97,029	1,558	105,932
										減免	186	15,122			
										公用	446	24,574			
										受託	34	6,870			
										共催	61	3,559			
財団 自主	722	主催	627	16,681											
一般		7	159												
減免		5	391												
公用		8	55												
受託		0	0												

III 施設の利用状況

(2)市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数					利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較
							貸館	財団 自主	一般	減免	公用				
7 市民会館	309	212	68.6%	927	537	57.9%	181	貸館	144	一般	118	66,560	99,669	133	86,659
										減免	2	1,807			
										公用	24	18,368			
										受託	0	0			
										共催	6	4,045			
財団 自主	37	主催	31	8,889											

※利用率＝利用日数／利用可能日数 ※回転率＝利用区分／利用可能区分
 ※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間) 但し、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。
 ※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。
 ※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日利用があるため

2 入館者数一覧(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	27	26	28	31	25	163	27	26	24	24	25	26	152	315	314	100.3%
ギャラリー	利用件数	4	3	4	5	2	3	21	3	5	2	4	1	3	18	39	40	97.5%
	利用者数	2,614	3,622	2,826	4,915	2,515	3,787	20,279	3,635	3,683	1,724	3,293	842	657	13,834	34,113	38,003	89.8%
視聴覚ホール	利用件数	11	23	33	29	25	27	148	26	32	22	17	16	4	117	265	271	97.8%
	利用者数	1,517	2,021	2,543	3,201	2,490	2,679	14,451	2,952	3,396	2,530	1,497	1,727	174	12,276	26,727	29,338	91.1%
会議室	利用件数	30	30	32	34	34	29	189	27	26	26	27	25	7	138	327	363	90.1%
	利用者数	706	697	779	1,158	1,007	957	5,304	822	568	529	763	570	53	3,305	8,609	9,921	86.8%
文化活動室	利用件数	26	21	28	28	18	22	143	22	31	18	21	19	4	115	258	288	89.6%
	利用者数	416	417	585	560	449	498	2,925	571	733	465	475	424	118	2,786	5,711	6,477	88.2%
和室	利用件数	10	14	12	12	12	14	74	10	19	6	13	10	3	61	135	141	95.7%
	利用者数	129	41	125	206	49	134	684	44	208	17	148	62	14	493	1,177	1,164	101.1%
交流アトリウム	利用件数	54	58	69	58	62	36	337	37	39	27	37	52	1	193	530	455	116.5%
	利用者数	602	1,969	599	768	1,311	2,063	7,312	3,145	2,400	549	4,914	2,366	6	13,380	20,692	21,029	98.4%
ボランティアルーム	利用者数	160	195	204	217	320	190	1,286	100	135	143	136	139	0	653	1,939	2,425	80.0%
文化情報プラザ	利用者数	1,695	1,442	1,215	1,368	1,457	1,107	8,284	1,306	1,052	721	738	923	730	5,470	13,754	16,263	84.6%
日本自分史センター	利用者数	43	75	47	34	49	42	290	43	29	28	35	20	30	185	475	453	104.9%
計	利用件数	135	149	178	166	153	131	912	125	152	101	119	123	22	642	1,554	1,558	99.7%
	利用者数	7,882	10,479	8,923	12,427	9,647	11,457	60,815	12,618	12,204	6,706	11,999	7,073	1,782	52,382	113,197	125,073	90.5%

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※日本自分史センターは施設の特性上、利用者数の厳密なカウントが難しい。利用のほとんどは自分史相談と書籍の貸出し・返却であるため、この数を足したものを利用人数とみなす。

※ボランティアルームについては、人数が特定できる利用についてのみカウントする。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	27	26	26	27	25	157	27	26	24	24	25	26	152	309	225	137.3%
市民会館	利用件数	9	15	14	17	24	15	94	18	16	17	18	16	2	87	181	133	136.1%
	利用者数	4,522	8,317	8,735	8,531	7,163	12,383	49,651	13,535	14,563	8,838	6,243	6,832	7	50,018	99,669	86,659	115.0%